

インフルエンザ
予防接種費用の
一部を助成します

子どものインフルエンザ
予防接種

市では、季節性インフルエンザのまん延に対する子どもの感染症予防と、保護者や家族が看護のために仕事を休むことによる社会的・経済的損失などを考慮し、子どものインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。

●対象者 接種日現在、赤穂市に住所を有する生後6カ月から小学6年生までのお子様(対象になるお子様には、助成券を送付しています)

●接種期間 10月1日(木)～平成28年1月31日(日)までで医療機関が指定する日

※接種期間外に接種を受けた場合は、助成の対象となりませんので、ご注意ください。(2回目の接種も必ず接種期間内に行ってください)

●助成額 助成回数 1回につき1,000円を2回(計2,000円)助成します。

●接種スケジュール 1回目の接種から、2週間から4週間の間隔で2回目を接種します。(免疫効果を考慮すると4週間が望ましいとされています。主治医とご相談ください。)

▽市内で接種される場合
各医療機関の定める接種料金から、助成額の1,000円(1回につき)を差し引いた金額が、保護者の支払額です。医療機関でお支払いいただく料金は、各医療機関によって異なります。ご注意ください。

▽市外で接種される場合
いったん、全額を医療機関にお支払いいただき、平成28年3月31日までに保健センターで助成金の返金手続きをしてください。詳しくは保健センターまでお問い合わせください。

●市内の医療機関
案内通知でご確認ください。

●市外の医療機関
希望される医療機関に接種可能かお問い合わせください。

高齢者インフルエンザ
予防接種

●対象者 赤穂市に住所を有する人で①又は②に該当する人

●接種期間 10月1日(木)～平成28年1月31日(日)で医療機関が指定する日

●持参する物
▽被保険者証(提示)▽対象者②に該当する人は身体障害者手帳(提示)▽生活保護受給者は受給者証明書(提示)

②60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の周辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障がいのある人、及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある人

●自己負担金 1,500円を医療機関窓口でお支払いください。(今年度から自己負担金が増えます)

●高齢者インフルエンザ予防接種実施医療機関

*ワクチン等の都合により、接種できない場合があります。

医療機関名	電 話
赤穂市民病院	43・3222
赤穂市民病院福浦診療所	43・0400
赤穂市民病院高雄診療所	48・0995
赤穂市民病院有年診療所	49・3703
赤穂中央病院	45・1111
赤穂はくほう会病院	45・1111
イオン診療所	46・4666
石川整形外科医院	45・1717
岩谷内科	45・2888
梶原外科	42・9934
きっかわ整形外科	43・1811
きむクリニック	45・7355
くぼかわ医院	42・2140
黒田医院	43・5210
澤田医院	48・8149
シオヤ外科胃腸科医院	43・4712
杉口整形外科	45・1451
せの内科クリニック	56・5115
田淵医院	43・4114
てんわかかりつけ医院	43・7411
中村内科医院	46・0012
福田産婦人科麻酔科	43・5357
藤野内科クリニック	42・1077
堀クリニック	43・6066
正木医院	45・3555
松本クリニック	42・0036
三木内科	42・1771
宮崎クリニック	43・4877
山中クリニック	42・5556
渡辺内科小児科医院	42・3884

●日時 11月15日(日) 午前10時～

●場所 総合福祉会館 1階しあわせフェスティバル会場内

●対象者 平成27年度80歳になる人(昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれ)で、お口の健康優良者(自分の歯が20本以上ある人)

●表彰 最優秀賞・優秀賞・80・20賞(達成者)の表彰をします。

●申込 該当される人は、歯科医師会事務局に申し込んでいただくか、当日会場へお越しください。

◎歯科医師会事務局
保健センター ☎43・9855
☎45・2588

休診情報をお知らせします

赤穂市民病院では、9月9日から休診情報を赤穂市民病院ホームページに掲載を開始しました。

お知らせする内容は、休診日・診療科・医師名です。前日までの休診情報をもとに掲載しています。

受診の際の確認にご利用ください。

赤穂市民病院ホームページ

<http://www.amh.ako.hyogo.jp/>

◎赤穂市民病院 医療課

☎43・3222(代)

(平日の午前8時20分～午後5時5分)



薬と健康の週間
10月17日(土)～23日(金)

お薬のこと、聞いて安心
正しく使って、健康に!

現在使用している薬の効果・副作用について、正しく理解していますか。

薬は、誤った使い方をするとおそれる副作用が出る場合があります。薬を安心して使うために、相談しやすく、薬の情報や健康上のアドバイスなどいろいろ教えてくれる、そんなかかりつけ薬局を見つけましょう。

薬を使用するときは、次のことに注意してください。

- 説明書を読み、薬は正しく使いましょう。
- 用法、用量を守りましょう。
- 光や熱、湿気などによって品質が低下することがあるので、注意して保管しましょう。
- わからないことは、医師、薬剤師などの専門家に相談しましょう。